



ユニフェムよこはま

No.48 2010.9.

# ユニフェム

UNIFEM YOKOHAMA NEWS

## よこはま

### ユニフェムよこはまサマーセミナー 2010

#### 目 次

サマーセミナー	1~2
会員のページ	2
パナマの施設の子どもたち	3
国連機構改革	3
コンサートのお知らせ	4
ユニフェムショップから	4
国内委員会ニュース	4
事務局より	4

#### 国連・日本の最近の動きから学ぶ“ユニフェム活動のこれから”

恒例のサマーセミナーは、8月7日、アートフォーラムあざみ野で開催された。今関心のあるテーマについて、報告・説明が3人からあった。

先ず、CSW(国連婦人の地位委員会)北京+15 “15年間の国際的進展と課題”と題した、原ひろ子さん(日本女性監視機構前代表)の経験に基づく話はたいへん興味深く、国際的な動きと国内法の制定や改定などの運動、まつわるエピソードをユーモアを交えて話された。

次に、アフガニスタンの女性へのDVの実態(ソーサンの場合)日本語版のDVDを映像で、ユニフェム日本国内委員会の活動はパワーポイントで、コンパクトに渡邊が紹介した。7月2日の国連総会で採択されたUN Womenの設立により、慣れ親しんだユニフェムという名称がなくなるため、活動を再認識してもらいたいという思いからである。

続いて、宮坂洋子さんから、国の第3次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方(答申)についての説明があり、私たちの活動に関係のある国の計画第15分野「国際規範の尊重と国際社会の“平等・開発・平和”への貢献」や「横浜市男女共同参画行動計画案」についても紹介いただいた。その後、3グループに分かれて話し合った。タイムリーな話題であったため予定の時間はアップという間に過ぎ、充実したセミナーだった。



活発なグループの話し合いも行われた

(事業部会 渡邊 啓子)

#### 1. CSW(国連婦人の地位委員会) 北京+15 “15年間の国際的進展と課題”

原 ひろ子(城西国際大学客員教授、日本女性監視機構・前代表、ユニフェム日本国内委員会副理事長)



法改正等、国内外の動きを話す原ひろ子さん

1995年に第四回国連世界女性会議が行われ、北京宣言と北京行動綱領が採択され、日本でも男女共同参画社会基本法が制定された。当初、男女平等基本法という言葉を使いたかったが、これを使うと「男女平等」とは何だ!という議員もいて国会を通らないかも知れないとの懸念から、男女共同参画社会基本法にした。当時の官房長官、野中広務さんの尽力で参議院の先議で可決、衆議院でも可決。野中広務官房長官が差別の中で苦労してきた母に報いるため協力的だったという後日談がある。未だに男が上、女は下と考える議員がいる。決まってから「これは何だ?」と思っている議員もいるようだ。

選択的夫婦別姓も、夫婦別姓(選択的をはずし)反対を唱える議員もまだまだいる。今からでも改正の問題は出てくるかも知れない。

2000年、国連の成果文書のお陰で、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」が制定された。当初、日本の場合、新しい法律は必要ないと委員の大多数が反対していたが、2000年の会議直後、法律が制定され、3年毎の改定が付帯決議となった。その後、離婚した夫婦間の問題には関知しないことになっていたのが改正されて保護命令の期間が長くなった。子どもを連れての保護期間の子どもの位置づけも改善された。しかし、妻名義の住宅でも妻が暴力を振るわれた場合、夫はそこに住み、妻がその住宅から逃げて他所に行くという不可解なこともある。内縁関係の場合、一年以上一緒にいなければ駄目で、一年未満の同居では認められないし、デートDVも認められていないなど問題もある。2010年プラス15では、女性に対する暴力の問題も取り上げているが、環境・災害の問題も新しく取り上げられた。

## 2. ユニフェムの最近の活動紹介 DVD (アフガニスタンのDV) から・・・

渡邊 瞳子 (ユニフェム日本国内委員会副理事長 ユニフェムよこはま事業部会)

タリバン崩壊後8年経つが、未だに女性に対する暴力が続いている。アフガニスタンでは、夫から暴力を受ける女性が多く、家族や親兄弟も当たり前のように見ていて死に至るケースも多い。夫と15歳の息子から暴力を受け、ユニフェムの運営するシェルターに3人の子どもを連れて逃げてきた女性（ソーサン）の例が紹介された。アフガニスタンでは女性が女性だけで暮らすことは許されないため、彼女は別の男性との再婚を選び、3人の子どもとも離れることになった。

続いてパワーポイントで「国連・日本の最近の動きから学ぶ」ユニフェムの活動紹介がされた。ユニフェムの活動目標、ユニフェム日本拠出金の推移、支援したプロジェクト等の説明があった。



アフガニスタンの様子を  
紹介する渡邊瞳子さん

## 3. 国の第3次男女共同参画基本計画策定に当たって基本的な考え方等

国連 第15分野「国際規範の尊重と国際社会の“平等・開発・平和”への貢献」  
横浜市男女共同参画行動計画(第3次) 素案(概要版)より

宮坂 洋子 (ユニフェム日本国内委員会常任理事 ユニフェムよこはま相談役)



市民の意見を出すことが重要だと話す  
宮坂洋子さん

国連が発表するジェンダー・エンパワーメント指数(GEM)において日本は、世界109カ国中57位という低い順位に留まっている。働く女性の6割は、妊娠・出産時に仕事を辞め、女性の二人に一人は非正規雇用など男女共同参画行動計画が必ずしも十分に進まなかった。

今回の第3次男女共同参画基本計画策定にあたりユニフェム日本国内委員会の要望書を2月に担当大臣に提出した。①第2次男女共同参画基本計画に引き続きユニフェムへの支援を明記されること、②ユニフェムに併設されている女性に対する暴力撤廃基金への拠出について、日本政府は休止中だが、国連あげての取り組みなので再開されること、③「地球社会の平等・開発・平和」

推進にあたって、NGOとの協力、連携が必要との姿勢を第3次計画にも明記されることなどを要望した。

また横浜市は、第3次男女共同参画行動計画の素案を出して市民の意見を募集している。身近なところから、どんどん意見を出して計画に反映するようブッシュすることが重要である。

(まとめ 広報部会 石橋むつ子・佐伯律子)

## 会員のページ

### 暮らしの知恵

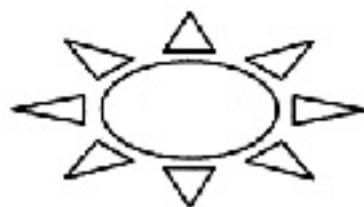


室岡 君世

編集の仕事にわたしは三十数年たずさわっていました。女性向けの実用記事一家事・育児・美容・料理などです。さまざまな人に出会い年月を重ねました。達人たちの知恵、普通の人のアイディアに満ちた暮らし方などを取材しました。その一端をご紹介します。

紅茶の淹れ方をインドの家庭料理エキスパート、アロラさんに伺ったとき、家庭ではボットの紅茶は最後までつぎ分けず、少し残しておく、これは二煎目もおいしく飲むためですと。日本茶は最後の一滴まで均等につぎ分けると教えられていたので驚きました。茶葉の違いはあるにせよ、アロラ流には大家族のあたたかさを感じました。次は調理時間の表示について。私たちは鍋を火にかけたときを基点にしますが、フランスでは沸騰した時点から計算します。たしかに使う鍋の材質や、形で左右されますので、沸点から計算したほうが条件は同じになります。またステーキを焼くとき、肉を鍋にならべてから塩・胡椒し、肉汁を閉じ込めるのだとマダムは話していました。私たちは塩・胡椒して数分おきますが・・・。いかにも狩猟民族だと納得しました。

いずれも小さな違いですがこの違いのウラに習慣・文化・民族の相違があり、暮らしや考え方にも反映されます。認め合うことによってゆるやかに許容力が増し、共存をスムーズにさせます。これは他人との係わり合い方にも通じるのではないでしょうか。



## パナマの施設の子どもたち



森川 英子

時々ショップに色鮮やかなモーラの手芸品が並びます。これは中米パナマの原住民女性の手作り品です。今回は、遠くて暑い国、パナマから最新レポートをお届けします。

運河で有名な中米のパナマに来て6ヶ月になります。首都のパナマ市は、高層ビルの建設ラッシュで、高度成長真っ只中です。そのパナマ市から西へ250キロのサンチャゴ市という所に、私は夫とふたりで住んでいます。夫は、ここでJICAの海外シニアボランティアとして、貧困層の自給自足農業推進のために活動中です。サンチャゴ市はほとんどが平屋建てで、また交通信号も2カ所しかないのんびりした地方都市です。



ストレ・オガール 正面

来て1カ月くらいの頃、「ストレ・オガール」という施設を見学させてもらいました。行って見て、驚きました。そこにいる小さい子どもたちが皆やせ細っているのです。大きな目が一層大きく見えます。あどけない顔をしてこちらを見るのですが、ほとんど動かず、ごろごろとしています。0才から5才くらいの栄養失調の子どもたちを預かり栄養をつけ、また親元へ戻すことを目的に、NGOが運営している栄養改善の為の施設でした。子どもたちの布オムツが大きな安全ピンで留められているのにも驚きました。オムツカバーはどうせ汚れるだけだから使わないと言います。

「濡れたから換えてやって」と言われて私も換えようとしたのですが、なんせ30年振りのオムツ換え、しかも洗い晒しのオムツで安全ピンがなかなか通りません。もし赤ちゃんにビンの先が当たったらと思うと、ますます通りません。こちらの人は、ビン先が当たるうが気にしません。オムツカバーがないので当然あちこち汚れるのですが、そこは日本のハイターのような消毒薬をかけて拭きとて終わりです。食事も同様です。顔中汚しても、食後に頭からシャワーをかけて洗ってしまうので気にしません。ハイチェアーや床にご飯粒がいっぱい落ちていても大丈夫。必ず、床拭き係りが、あとで全体を消毒薬で掃除するからです。

ここへやってくる子どもたちは、インディヘナと言って先住民族です。ここサンチャゴから何時間もバスに揺られ、そこからまた徒歩で何時間もかかる電気も水道もないような山奥の村にその多くが住んでいるそうです。この栄養失調で発育不全の子どもたちを見ていると、貧しい人達が、何とか自給自足農業ができるようになり、家族を養えるようになってくれたらと願うばかりです。ここではつい3カ月前まで一人の青年隊員が活動していました。彼女の献身的な働きには遠く及びませんが、子どもたちが私の顔を見て笑ってくれたらと、時折ストレ・オガールを訪ねています。



スタッフの女性たち

## ～国連機構改革～ ユニフェムが UN Women に！

国連は長年懸案になっていた女性問題を扱う国連機関の統合を図り、UN Womenを創設すると発表しました。統合される機関は女性の地位向上部 (DAW)、国際女性調査訓練研修所 (INSTRAW)、国連ジェンダー問題特別顧問事務所 (OSAGI)、国連女性開発基金 (UNIFEM) です。統合の目的は活動の効率化により加盟国からの女性問題に関するさまざまな要望により迅速に応えていくことがあります。新組織、UN Womenは女性・女児の権利、エンパワーメントをさらに向上させることを目指し、来年1月1日から活動を開始します。

ユニフェムのイネス・アルベルティ事務局長は、これを歴史的な出来事と位置づけて次のように述べています。「世界の女性と女児の権利の促進を掲げる強力な国連組織の創設は、長年にわたって私たちが提唱してきた目標でした。この目的が達成されたことを皆様とともに喜びたいと思います。新機構は統合される4組織をあわせたものよりさらに強固で、一貫性があり、よりよい地位と資力を備えたものになります。新組織ではユニフェムがこれまで支援してきたような活動は継続されながら、新しい機構に統合されていくことになります。」

この改革にしたがって日本国内委員会の英語表記も変更されることになり、日本語名も現在検討中です。

(広報部会 本田敏江)



ユニフェムよこはまチャリティコンサート

## London Ensemble Xmas Concert

英国、ヨーロッパで活躍のソリスト、室内楽奏者4人のロンドンアンサンブル日本公演  
～ショパン、シューマン 生誕200年を記念して～

日時：2010年12月13日（月） 14:30 (14:00開場)

場所：かなっくホール（JR東神奈川駅1分、京急仲木戸駅1分）

チケット：3000円（全席自由）

主催：ユニフェムよこはま

申込：FAX (045-869-6787) 又はEメール unifemyokohama@blue.ocn.ne.jp



### ユニフェム ショップから

ショップは、販売による利益を国連ユニフェムへ拠出する一方で、ユニフェムの活動や途上国女性の情報を、来客の皆様にお知らせするという発信の場でもあります。

月～土曜日の12時～17時までオープンし、販売は毎月当番表を作り、会員がボランティアでしています。値段付け・出納帳・販売日誌照合・ボランティア交通費計算などのショップ事務は、主に総務部が担当しています。苦労といえば、数字や品番との睨めっこで、細かい品物が多いせいか、売れたものを把握して在庫管理をすることでしょうか。

また、売れ残ったものをどれ位、値下げしようかと、素人である私たちは悩みます。

総務部会 竹内 美千代



現在、ショップにある品物の主流は、インドやネパールのストール・ネックレス、ケニアのネックレスなどですが、最近タイやマレーシアの新しい品物も入荷しました。その他バッグ類・小物入れ・エプロン・タオルハンカチなど色々あります。

日本の品や寄付品も並んでいますが、全商品を途上国女性の作った製品にしたいというのが理想です。買いややすい価格で、何よりも途上国の女性たちがコツコツと手作りした暖かさが感じられる品を揃えています。珍しいものも多いので、ぜひ皆様、足を運んでみてください。

### ユニフェム日本国内委員会ニュース

APECに加盟する国々の女性リーダーたちのネットワーク、WLNの年次会合が、2010年9月19日から21日、APEC議長国の日本で開催されます。ユニフェム日本国内委員会は「各国にみる女性の起業力」をテーマにパネルディスカッションを企画運営します。（<http://www.apecwln2010.jp/ja.html>）

横浜市は、このWLN会合に関連するイベントを開催します。パネリストに林文子横浜市長も登壇する「キャリアを拓く 私らしく」と題したパネルディスカッションにぜひ、ご参加ください。

◆日時：9月22日（水）14時～16時 ◆会場：横浜シンポジア ◆入場：無料（先着200名）  
◆申込：FAX03-3423-4108 ◆申込締め切り：9月17日（金）

### ～～～事務局より～～～

\*新入会員の方々です。

濱口 伸子 仲野 幸緒 板橋 久美子  
今井 敏子 宮本 紹子

\*ご寄付をありがとうございました。

本田敏江 港南区女性団体連絡協議会  
高垣絵里 宮坂洋子 原ひろ子  
清原美那子（敬称略）

\*事務局員が交代しました。

長い間お世話になりました。  
ありがとうございました。  
山本紀子（総務部会）



教えていただく事ばかりだと思いますが、  
どうぞ宜しくお願ひいたします。  
宮本紹子（総務部会）

### ユニフェムよこはま 第48号

発行日 2010年9月1日  
発行 ユニフェムよこはま  
事務局 〒244-0816  
横浜市戸塚区上倉田町435-1  
男女共同参画センター横浜内

TEL・FAX 045-869-6787  
Eメール [unifemyokohama@blue.ocn.ne.jp](mailto:unifemyokohama@blue.ocn.ne.jp)  
Webpage <http://www.unifemyokohama.org/>  
編集・デザイン ユニフェムよこはま広報部会